

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぶれみあむ原		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同年代の利用者が多く、利用児童の特性に応じて支援の提供を行うことができる。	研修やミーティングなどで利用者の特性を共有し、支援する者が全ての子どもたちと関わることができるよう取り組んでいる。また、子どもに対しての支援内容や計画など来る前に確認し、統一した支援ができるよう話し合い、支援内容の工夫をしている。	プログラムや放課後等デイサービス計画についての社内研修を充実させ、職員の知識や支援力を高め、実践に活かせるようにしていく。利用者や保護者にとって最適な支援方法を考え、児童発達管理責任者の指導の下、振り返りと改善を繰り返し日々の関わり方の充実を図っていく。
2	保護者と連携が取れ、安心して利用してもらっている。	日頃から送迎時など保護者と対面することが多く、事業所、家庭、学校での様子を共有し情報交換をすることで、現状把握や課題などを話し、より良い支援に繋げている。また連絡帳やメール、電話などいつでも相談できる環境を整えており、問題が発生した際の対応についても迅速に対応できるように努めている。	保護者の仕事や家庭の事情など、急な送迎時間の変更が起きた際にも柔軟に対応できるよう、職員間、保護者との連携をしっかりととり、迅速に丁寧な対応ができるよう心がけていく。いつも感謝の気持ちを忘れず保護者と利用者の期待や要望に応えられるよう尽力していきたい。
3	事業所が広く、必要な際には個別に支援が可能	集団が苦手な児童やパニックを起こした児童に対して、クールダウンを促し、集団から離れる場所の提供ができる。すべての部屋に冷暖房が完備されているため、暑さが苦手な児童にも対応できる。	個室対応が必要な児童に利用しているが、小グループでのスキル活動や個別トレーニングにも利用し、支援と環境の充実を図ることで子どもたちのスキルアップに繋げていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない	・地域の子どもたちと触れ合う機会がない。 ・交流に向けてのはっきりとした計画や目的が定まっていないため、場の提供が出来ていない。 ・地域交流を望んでいない保護者に対するケアが出来ていない。	・地域の清掃作業に参加したり、近くの学生ボランティアに来所依頼をしたりと、声掛けや取り組みは行っているがまだまだ様々な世代の地域住民との交流が必要だと考えている。子どもたちが一緒に活動できる場を設けることで交流の機会を増やしていきたい。
2	家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)	現在、ペアレントトレーニングや、父母の会の支援など、利用者の家族に対するプログラムや、研修等が充実されていない。必要かどうかを保護者の意向も含めて検討していきたい。	情報提供に関しては、HPや新聞、保護者を開催して行っている。また支援内容や相談事に関しては、送迎時の対話やメール、電話など必要に応じて場を設け課題に合わせた情報提供やアドバイスをしている。保護者のニーズに沿った情報提供の仕方を工夫していきたい。
3	きょうだい児に向けたイベントの開催、支援、交流	家族や本人がのぞんでいるかの意向確認はできていないが、必要であれば今後検討していく課題だと考えている。	保護者や家族の意向に沿って検討していきたい。